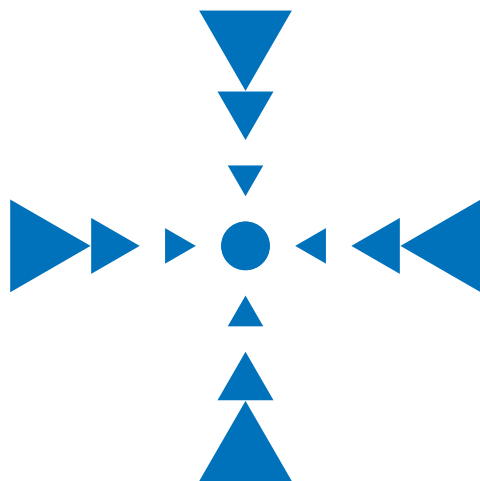


BlueSoleilの使い方



Bluetooth
LBT-UAシリーズ

ごあいさつ

このたびはロジテックのBluetooth USB アダプタをご購入いただきまことにありがとうございます。本書は、Windows環境でBluetooth USB アダプタを使用するためのソフトウェア「BlueSoleil」の使い方についてご説明いたします。

ご使用前やWindows環境でBluetooth対応デバイスを使用する際にお読みください。

BlueSoleil について

BlueSoleil は Windows 環境でさまざまな Bluetooth プロファイルに対応し、簡単な操作で、ご使用のパソコンとBluetooth対応デバイスのワイヤレス接続を実現することを可能にするソフトウェアです。また、転送データの暗号化や、複数のBluetooth対応機器の同時接続（ ）にも対応しています。

ただし、1つのプロファイルにつき、対応するデバイスは1台のみになります。

Bluetooth®テクノロジーについて

Bluetooth 無線技術は、デスクトップやノートパソコンと電話・プリンタ・PDA・FAX・キーボード等のデジタル製品をつなぐ、低コストの近距離無線リンクシステムです。また、デバイス間との通信と同期化の両方を簡単に行うことができます。この技術を利用しているデバイスは全てそのメリットを享受することができます。

LBT-UA シリーズについて

LBT-UA シリーズは、コンパクトで多用途な USB アダプタです。内部に搭載されている Bluetooth 無線技術は、本製品を接続したコンピュータが、他の Bluetooth 搭載デバイスと通信することを可能にします。

「BlueSoleil」ソフトウェアとの組み合わせで使用するとファイルの転送やダイヤルアップネットワークへのアクセスなどの無線による利用が可能になります。また、ご使用のパソコンがBluetoothキーボードやマウス、ステレオ式ヘッドフォンを使用したり、Bluetooth 機能搭載の携帯電話から画像を直接受け取ることができるように、「ヒューマンインターフェースデバイス (HID)」、「アドバンス オーディオ ディストリビューション プロファイル (A2DP)」、「ベーシック イメージ プロファイル (BIP)」にも対応しています。

用語について

本書内では、Bluetooth USB アダプタを省略して USB アダプタと表記する場合があります。

* MS®、Windows ®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での登録商標です。Bluetooth および Bluetooth ロゴは、米国 Bluetooth SIG, Inc の商標です。Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

目次

1. BlueSoleilについて	4
1.1 Bluetooth 機能	4
1.2 Bluesoleil メインウィンドー	5
1.3 Bluesoleil を起動する	7
1.4 他の Bluetooth 対応デバイスを検索する	8
1.4.1 デバイス検索の開始	8
1.5 接続を確立する	9
1.5.1 サービスの開始	9
1.5.2 接続の開始	11
1.5.3 切断する	13
1.6 Bluetooth セキュリティ	15
2. Bluetooth サービスの利用方法	17
2.1 AV ヘッドフォン	17
2.2 Basic Imaging (画像転送)	19
2.3 ダイアルアップネットワーク	20
2.4 FAX	23
2.5 ファイル転送	24
2.6 ヘッドセット	27
2.7 ヒューマンインターフェースデバイス	29
2.8 LAN アクセス	30
2.9 オブジェクト プッシュ	31
2.10 パーソナルエリアネットワーク	34
2.11 プリンタ	37
2.12 シリアルポート	38
2.13 Bluetooth 同期化	40

付録 BlueSoleil のメニュー	41
A-1.1 BlueSoleil 環境	41
A-1.1.1 メインウィンドー	41
A-1.1.2 サービスウィンドウ	44
A-1.1.3 メニュー	47
A-1.2 Bluetooth 接続管理	51
A-1.2.1 リモートデバイスを検索する	51
A-1.2.2 接続・切断	52
A-1.2.3 ショートカット経由の接続	53
A-1.2.4 リモートデバイスステータス	54
A-1.2.5 リモートデバイスの属性	55
A-1.3 デバイス設定	56
A-1.3.1 ハードウェア設定	56
A-1.3.2 プロパティの設定	57
A-1.4 セキュリティ設定 (Security Configuration).....	59
A-1.4.1 ペアリングの確立と解除	59
A-1.4.2 セキュリティの概要	60
A-1.4.3 デバイスのペアリングを管理する	61
A-1.4.4 ローカルサービス セキュリティ	62
トラブルシューティング	64



1. BlueSoleil について

BlueSoleil は、Bluetooth USB アダプタを接続したパソコンと Bluetooth 対応デバイスをワイヤレスで接続可能にする Windows ベースのソフトウェアです。BlueSoleil を使用すれば、Windows ユーザはカメラや携帯電話、ヘッドセット、プリンタ、GPS 受信機などの多種多様な Bluetooth 対応デバイスへワイヤレスでアクセスできるようになります。また、ネットワークを形成し、他の Bluetooth 対応パソコンや PDA とデータの交換を行うこともできます。

1.1 Bluetooth 機能

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用して接続しサービスを共有するために、通信を行うデバイス同士は、同じ Bluetooth プロファイルをサポートしていなければなりません（一方がマスターで、他方がスレーブ）。多くの場合、Bluetooth はデバイスに複数のプロファイルのサポートを可能にし、複数の接続が伴っている場合、異なるデバイスの役割を同時に実行することができます。

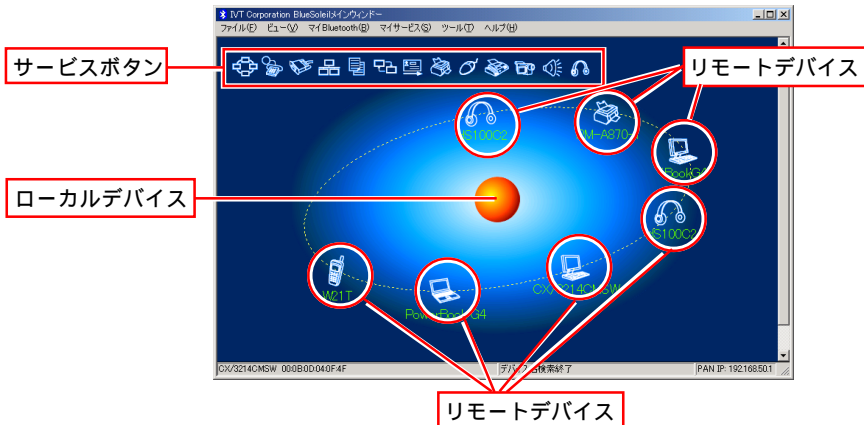
Bluetooth 機能（プロファイル）	アイコン	スレーブ	マスター
AV ヘッドフォン			
画像転送 (Basic Image Profile)			
ダイヤルアップネットワーク			×
FAX			×
ファイル転送 (File Transfer)			
ヘッドセット			
マウスやキーボード (Human Interface Profile)			×
LAN アクセス			
名刺交換 (オブジェクトプッシュ)			
パーソナルエリア ネットワーク			
プリンタ			×

シリアルポート			
同期化 (Synchronization)			

オーディオデバイスの接続は1台のみとなるため、ヘッドセットとAVヘッドフォンは同時に使用することはできません。

1.2 Bluesoleil メインウィンドー

デフォルトでは、BlueSoleilは起動時にメインウィンドーが表示されます。最初の接続操作を実行するために、メインウィンドーを使用してください。メインウィンドーではローカルデバイス(レッドボール)と、通信範囲内にあるリモートデバイスを表示します。リモートデバイスの種類は異なるアイコンによって表示されます。



メインウィンドーの上の部分はサービスボタンです。リモートデバイスがサポートしているサービスを検索後、選択したデバイスがサポートしているサービスがハイライト表示されます。

ローカルデバイス - 基本操作

ローカルデバイスとは、この場合 BlueSoleil をインストールしてご使用になっているコンピュータのことです。

- ・ ローカルデバイスの Bluetooth 名とアドレスを表示させるために、レッドボール上に、マウスを移動してください。
- ・ 通信可能範囲内にある Bluetooth デバイスの検索を開始または終了する場合はレッドボールをクリックします。
- ・ (検出、マイサービス、セキュリティ等) 関係する操作のポップアップメニューを表示させるためには、レッドボールを右クリックしてください。

リモートデバイス - アイコンの意味

リモートデバイスとは、この場合、ご使用になっているコンピュータから通信が可能な Bluetooth 対応デバイスを指します。

- 白 - アイドル状態：デバイスの通常の状態
- 黄色 - 選択状態：そのデバイスが選択されている状態
- 緑色 - 接続状態：ローカルデバイスとそのデバイスが接続されている状態

リモートデバイス - 操作

- シングルクリック - 選択
- ダブルクリック - デバイスにサポートされているサービスの検索
- 右クリック - 関係する操作のポップアップメニューの表示
(例: サービスのリフレッシュ、ペアデバイス、ステータス等)

サービス - アイコンの意味

- 白 - アイドル状態：通常はこの状態で表示されています。特定のリモートデバイスが選択され、そのデバイスが該当サービスに対応している場合のみ、以下のように表示されます。
- 黄色 - 使用可能：該当サービスは選択されたデバイスで使用可能です。
- 緑色 - 接続状態：該当サービスはそのリモートデバイスとの接続で有効となっています。

サービス - 操作

- ・ サービス名を表示させるため、サービスアイコン上にマウスカーソルをポイントしてください。
- ・ 接続するにはリモートデバイスが選択された状態で対応するサービスアイコンをクリックします。
- ・ 接続と切断のポップアップメニューを表示させるには、サービスアイコン上で右クリックします。

1.3 Bluesoleil を起動する

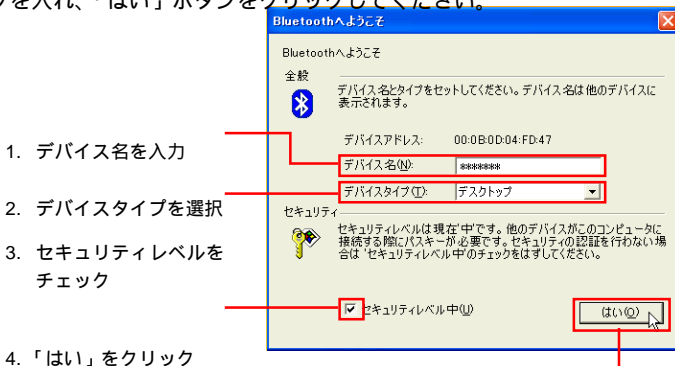
1. BlueSoleilを開始するには、デスクトップ上のBlesoleilのショートカットアイコンをダブルクリックするか、「スタート」 - 「(すべての) プログラム」 - 「IVT BlueSoleil」 - 「BlueSoleil」と選択してください。



BlueSoleilはUSBアダプタの抜き差しを感知し、USBアダプタが取り外されると接続などの操作を受け付けなくなります。

また、USBアダプタを接続する前にBlueSoleilを起動しておくこともできます。

2. BlueSoleilを初めて起動したときは、「Bluetoothへようこそ」スクリーンが表示されます。他のBluetooth対応デバイスから識別できるように、ご使用のパソコンの名前とデバイスタイプを指定してください。また、必要に応じてセキュリティのチェックボックスにチェックを入れ、「はい」ボタンをクリックしてください。



ここで入力したデバイス名が、その他のBluetoothデバイスから、検索した場合に表示されるデバイス名になります。

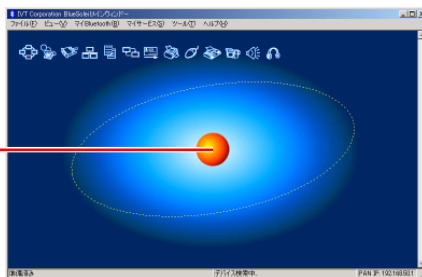
1.4 他の Bluetooth 対応デバイスを検索する

(他の Bluetooth 対応機器と) 接続を行う前に、通信可能範囲内にある他の Bluetooth 対応機器を最初に検出しなければなりません。

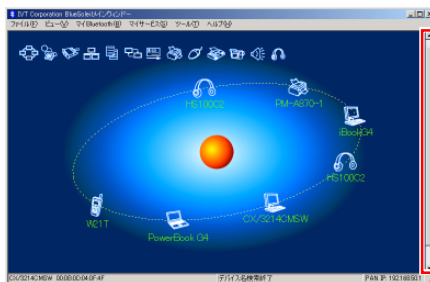
1.4.1 デバイス検索の開始

1. 接続を行いたい Bluetooth 搭載機器の電源が ON になっていて、十分に電力が供給されており、検索モードになっていることをご確認ください。必要なパスキーを全て準備しておきます。必要な場合、リモートデバイスで使用したいサービスを可能にしておく必要があります。詳しくはリモートデバイスのインストールマニュアルを参照してください。
2. メインウィンドーでレッドボールをクリックして、デバイスの検索を開始します。代わりに「F5」キーをクリックすることもできます。

クリック



3. 数秒してから、無線到達範囲内にある Bluetooth 搭載デバイスがレッドボールの周りに表示されます。



スクロールバー

メインウィンドーでは検出されたデバイスを一度に8つまで表示することができます。BlueSoleilがそれ以上のデバイスを検出した場合、スクロールバーを使用して表示されていないデバイスを確認することができます。

デバイス名、デバイスアドレス、デバイスタイプによって並べ替える場合は、「ビュー」 - 「デバイスの並べ替え」をクリックしてください。

4. 検出されたリモートデバイスの名前が表示されるまで、数秒間お待ちください。
5. 接続したいデバイスが検出されていない場合、そのデバイスの電源がONになっていて、検索モードになっていることを確認し、再度検索を行ってみてください。この際、以下の点にご留意ください。

レッドボールをダブルクリックして別の検索を始める場合も、その前に検出されたデバイスのリストはクリアされません。
「F5」キーをクリックして別の検索を始める場合も、その前に検出されたデバイスのリストはクリアされません。

1.5 接続を確立する



ご注意

ここで示す内容は、Bluetooth機能搭載デバイス全般の一般的なインストール手順です。ご使用になる予定のサービスの種類別の詳細については、第2章の説明をご参照ください。

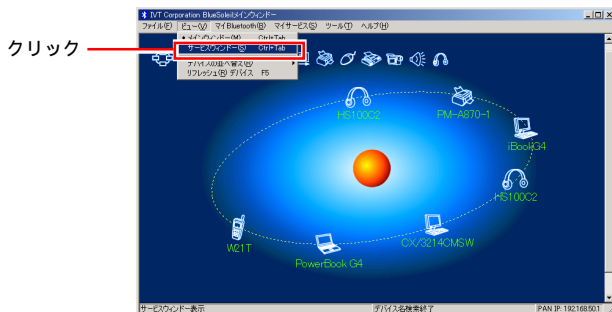
通常、接続はクライアントから始められます。BlueSoleilがサポートするサービスのどのデバイスの役割を使用したいのかを、「1.1 Bluetooth機能」の表で確認してください。

- サーバ側では、サービスを開始してください。
- クライアント側は、検索モードを起動してください。

1.5.1 サービスの開始

Bluetooth接続で、ご使用のコンピュータをサーバとして使用したい場合、はじめにシステム上で適切なサービスを可能にしなければなりません。

1. 「ビュー」 - 「サービスウィンドー」をクリックして、サービスウィンドーにアクセスしてください。



2. サービスを行うためのアイコンが黄色にハイライトされていたら、サービスは既に開始されています。
「シリアルポート」のアイコンはどのCOMポートが割り当てられているかも表示します。



アイコンが白色の場合は、使用するためにサービスを開始しなくてはなりません。アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから、「サービスの開始」を選択してください。アイコンが黄色にハイライト表示されます。



Point ポイント

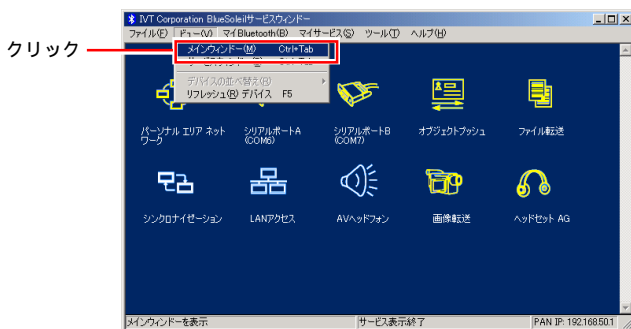
- アイコンは、BlueSoleil がサーバ側の役割としてサポートする機能（プロファイル）のみ表示されます。「1.1 Bluetooth 機能」のチャートをご参照ください。
- ご使用のシステムによっては、「Serial COM」ポートには複数のアイコンが表示されます。
- サービスの開始に特定の設定が必要な場合、Windows のタスクトレイ右上にメッセージが表示されます。

3. BlueSoleil のサービスをスタートしたら、リモートデバイスからの接続を開始することができるようになります。設定についてはリモートデバイスのユーザーズマニュアルをご参照ください。

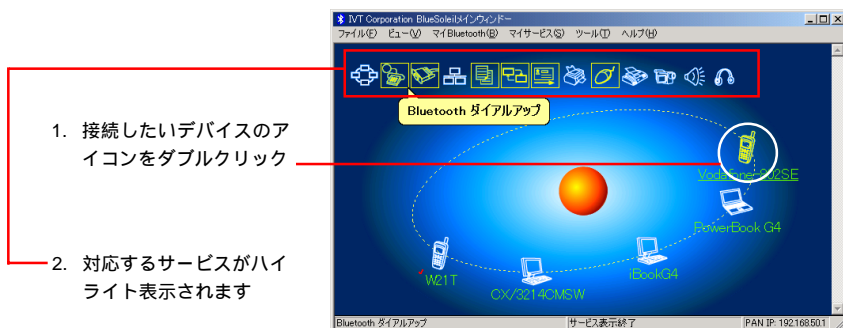
1.5.2 接続の開始

Bluetooth接続でクライアントとしてコンピュータを使用したい場合、通信先のデバイスで対応するサービスが可能であることを確認してください。通信先のデバイスが該当サービスに対応していなければ、BlueSoleil はサービスを検出し接続することができません。設定についてはそのデバイスのユーザーズマニュアルをご参照ください。

1. 「ビュー」 - 「メインウィンドー」とクリックして、メインウィンドーに戻ります。



2. 接続したいデバイスのアイコンをダブルクリックします。BlueSoleil は、そのデバイスがサポートしているサービスについての情報の検索を開始します。
3. 検索後、BlueSoleil のメインウィンドーでどのデバイスがサポートするサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されます。使用したいサービスがサポートされていることをご確認ください。



- サービスのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから「接続」をクリックして、サービスを選択してください。BlueSoleilが接続を開始します。各デバイスのセキュリティの設定に応じて、デバイス間のペアリングを行うために各デバイスと同じパスキーを入力する必要がある場合があります。

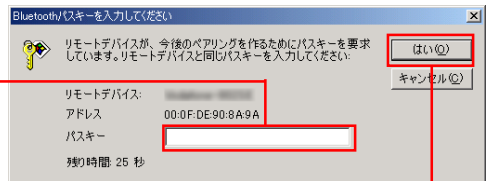
- 右クリック
- 「接続」を選択



ダイヤルアップ接続の例：

- 自動接続のセットアップを行うかどうかを問い合わせるスクリーンメッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択してください。
- 例えば、電話と接続する場合、電話機はBluetooth搭載のコンピュータのデバイスリストに登録するかを問い合わせます。パスキーを入力してから、「はい」ボタンをクリックしてください。

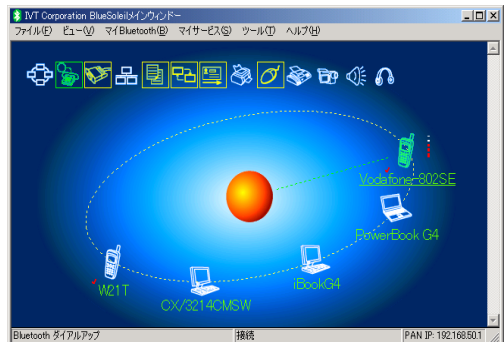
- 入力



- クリック

電話機側の設定は、ご使用の電話機のマニュアルをご参照ください。

- デバイスの接続に成功すると、メインウィンドウのデバイスのアイコンが緑色に変わり、レットボールとデバイスの間が緑の線で結ばれます。赤色のドットがクライアントとサーバの間の緑の線にそって動きます。デバイスアイコンの横に信号強度のアイコンも現れます。



タスクトレイのBlueSoleilアイコンも接続が有効であることを示して緑色に表示されます。

コンピュータとペアリング済みのデバイス名の横には全て赤色のチェックマークが表示されます。

8. ご使用のサービスによっては、追加の画面が現れ、追加の接続設定を行う必要がある場合があります（例：ユーザ名、パスワード、COMポートナンバー等）。適切な接続設定を行うと、そのプロファイルに対応したアプリケーションを使用できるようになります。

1.5.3 切断する

接続が確立した後は、いつでも通信を切断することができます。ただし、データ転送中に強制的に終了させた場合、データを消失する場合があります。切断時には十分ご注意ください。

サーバ側から切断する

サーバ側から切断する方法はサービスの停止です。データ転送中にサービスを停止するとデータの消失を招きます。そのため、切断はクライアント側から行うことをお勧めします。

サーバ側から切断するには、以下の2つの方法があります。

1. BlueSoleil ウィンドウ内で「ビュー」 - 「サービスウィンドー」と選択し、サービスアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから「サービスの停止」を選択します。サービスアイコンが白色に変化したら、そのサービスは停止します。
2. すでに開始されているサービスを選択後、「マイサービス」 - 「サービスの停止」と選択してください。サービスアイコンが白色に変化したら、そのサービスは停止します。

有効になっているサービスの状態は、サービスアイコンのコンテキストメニューから「ステータス」メニューを選択することで確認できます。

クライアント側から切断する

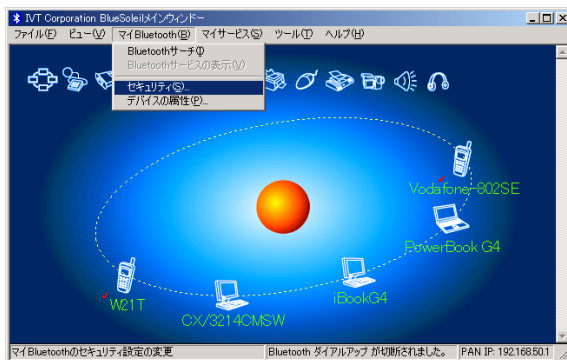
メインウィンドーで、はじめにリモートデバイスを選択し、接続されているサービスアイコンを右クリックしてください。表示されるポップアップメニューから「切断」を選択します。

1. 右クリック
2. 「切断」を選択



1.6 Bluetooth セキュリティ

セキュリティの設定を行うには、「マイ Bluetooth」 - 「セキュリティ」をクリックしてください。



BlueSoleil は 3 つのセキュリティレベルを提供します。

- 低 (セキュリティモード 1、セキュリティなし)

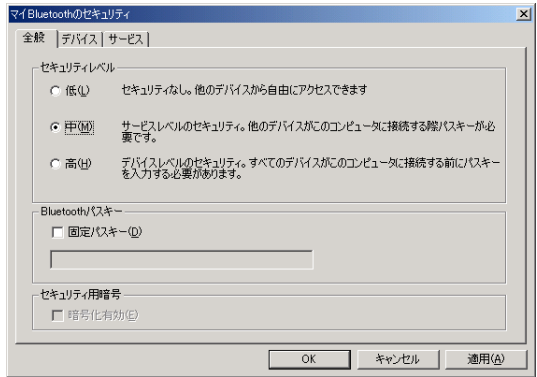
接続時にセキュリティの手続きは必要ありません。

- 中 (セキュリティモード 2、サービスレベルで実行されるセキュリティ)

他の Bluetooth 搭載デバイスから特定のサービスへアクセスが行われた場合、認証または承諾が要求されます。そのデバイスとの接続が初めての場合や、相互承認が確立されていない場合、承認を行うために両方のデバイスに同じパスキーを提供しなくてはなりません。このモードでは、サーバデバイスによってサポートされる各サービスについて異なるアクセス権を割り当てることができます。

- 高 (セキュリティモード 3、リンクレベルで実行されるセキュリティ)

2つのデバイスがともにモード 3 である場合、その機器同士のリンク接続の開始時には必ず承認を行うよう要求されます。承認を行うために両方にパスキーを提供しなくてはなりません。



セキュリティモード2では、ユーザーは各承認済みのデバイスを、次回の接続を迅速に行うために、信頼できるデバイスのリストに追加します。

2. Bluetooth サービスの利用方法

ここでは、Bluesoleilがサポートするサービスの一般的な使用方法についてご説明いたします。



重要なお注意

まだ、BlueSoleil側でサービスが開始されていない場合は、デバイス検出後も、対応するサービスがハイライト表示されない場合等も考えられます。そのような場合は、第1章をご参照の上、サービスが開始されていることをご確認ください。

Bluetooth対応機器の基本的な接続手順については第1章で述べています。接続がうまく行かない場合は、第1章もご参照ください。

Bluetooth対応デバイスには、そのデバイス独自の設定方法や認証方法がある場合があります。接続が確立されない場合は、デバイス側の設定もご確認ください。デバイス側の設定については、ご使用のデバイスのユーザーズマニュアルをご参照ください。

2.1 AV ヘッドフォン

AVヘッドフォンのプロファイルを使用するとBluetooth対応のヘッドフォンでコンピュータで再生される高品質なステレオミュージックを聴くことができるようになります。

通常の使い方

Bluetooth対応ヘッドフォンで音楽を聴くには

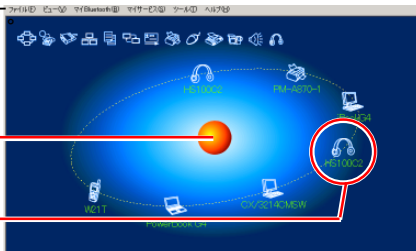
ステップ1:

Bluetooth対応のAVヘッドフォンの電源をONにして通信可能範囲内にセットしてください。

ステップ2:

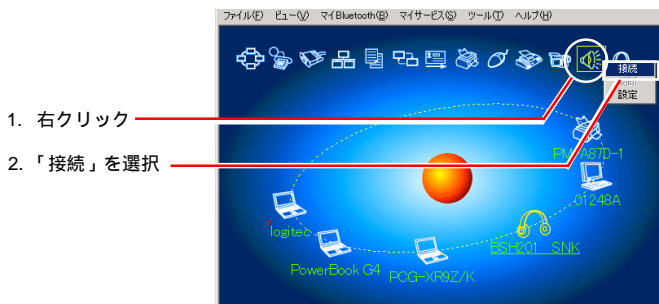
BlueSoleilを起動してデバイスの検索を行い、検出されたAVヘッドフォンのアイコンをダブルクリックします。

1. 検索
2. ダブルクリック



ステップ3:

メインウィンドウ上部のAVヘッドフォンのサービスアイコンが黄色色にハイライト表示されるので、このアイコンを右クリックして接続を選択します。



ステップ4:

コンピュータにあるメディアプレーヤなどを使用して音楽を再生します。
音楽がワイヤレスでヘッドフォンに転送されます。



音声がかまく再生されない場合は、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで、既定のデバイスに、Bluetooth 対応のヘッドフォンが設定されているかを確認してみてください。

2.2 Basic Imaging (画像転送)

「Basic Imaging Profile (BIP)」を使用すると、Bluetooth 搭載のデジタルカメラ、携帯電話、またはその他の互換性を持つデバイスから画像を受信することができます。また、リモートデバイスから遠隔操作をしてシャッターを押したり、画像を表示させたりその他のイメージ機能を実行することも可能です。

通常の使い方

- 対応するカメラなどを使用して写真をとります。
- Basic Image Profile に対応したデジタルデバイスから画像を受信します。

カメラをコントロールして写真をとるには

ステップ 1 :

Bluetooth 対応のデジタルカメラの電源を ON にして、通信可能範囲内にセットしてください。

ステップ 2 :

BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行い、検出されたデジタルカメラのアイコンをダブルクリックします。

ステップ 3 :

メインウィンドー上部の画像転送 (Basic Image Profile) のサービスアイコンが黄色にハイライト表示されるので、このアイコンを右クリックして接続を選択します。

ステップ 4 :

「Bluetooth Camera Controller」が表示されます。「Capture」ボタンをクリックすると保存された写真がコンピュータに転送され表示されます。

画像を受信するには

ステップ 1 :

クライアントデバイスで、イメージファイルの保存に使用したいディレクトリをクリックして割り当てます。「マイサービス」 - 「プロパティ」とクリックします。「Basic Image」のプッシュタブをクリックします。設定したイメージディレクトリのフィールドで、ファイルの場所を選択するためにブラウズします「OK」ボタンをクリックします。

ステップ 2 :

「ビュー」 - 「サービスウィンドー」と選択し、サービスの一覧から「Basic Image Profile」を開始します。

ステップ 3 :

リモートデバイスから画像を送信します。設定方法については、リモートデバイスのユーザーズマニュアルをご参照ください。

2.3 ダイアルアップネットワーク

Bluetooth ダイアルアップネットワーク (DUN) プロファイルは DUN プロファイルをサポートしているBluetooth対応のモデムや携帯電話からワイヤレスでインターネットにダイアルアップ接続を可能にします。

通常の使い方

- Bluetooth対応の携帯電話からインターネットにダイアルアップ接続します。
- Bluetooth対応のモデムからインターネットにダイアルアップ接続します。

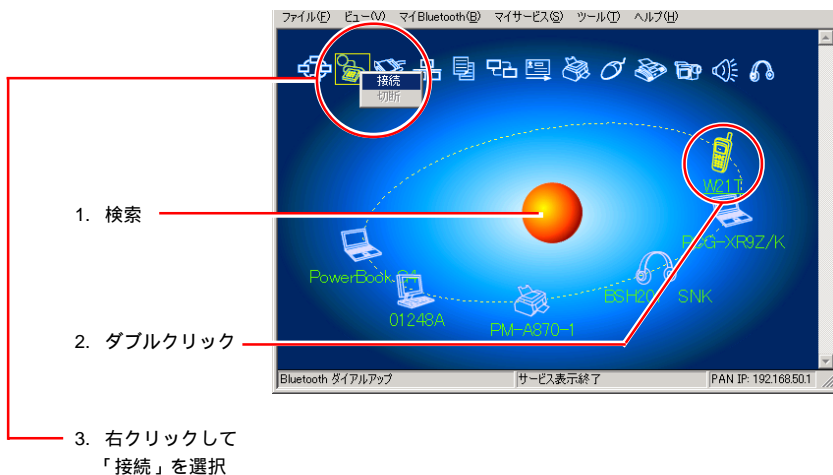
Bluetooth搭載の携帯電話からインターネットへダイアルアップ接続するには

ステップ1:

Bluetooth 対応の携帯電話の電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行い、検出された携帯電話のアイコンをダブルクリックしてください。

ステップ2:

対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、ダイアルアップネットワークのアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。



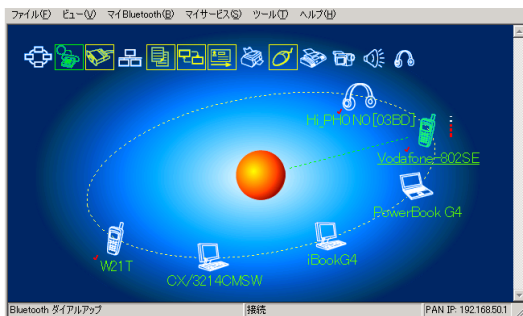
ステップ3:

ダイヤルアップのダイアログが表示されます。ダイヤルアップする番号、ユーザー名、パスワードを入力します。正しい番号を入力したのを確認して「ダイヤル」ボタンをクリックしてください。

1. ユーザー名、パスワードを入力
2. 正しい番号を入力
3. 「ダイヤル」ボタンをクリック



デバイスの接続に成功すると、メインウィンドウのデバイスのアイコンが緑色に変わり、レットボールとデバイスの間が緑の線で結ばれます。赤色のドットがクライアントとサーバの間の緑の線にそって動きます。デバイスアイコンの横に信号強度のアイコンも現れます。



Point ポイント

接続に成功後、デバイスのアイコンを右クリックすると、デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成するために「ショートカットとして接続を保存」を選択することができます。このショートカットを作成しておけば、以後「BlueSoleil」を起動しなくても、ショートカットアイコンをクリックするだけでダイヤルアップ接続ができるようになります。

Bluetooth 対応モデム経由でインターネットにダイヤルアップ接続する

ステップ 1 :

Bluetooth 対応のモデムの電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行います。

ステップ 2 :

検出されたモデムのアイコンをダブルクリックすると、対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、ダイヤルアップネットワークのアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。

ステップ 3 :

ダイヤルアップダイアログが表示されます。ダイヤルアップの番号、ユーザー名、パスワードを入力します。正しいダイヤルアップ番号を入力したら、「ダイヤル」ボタンをクリックしてください。

デフォルトのダイヤルアップ番号「*99***1#」はモデムでは機能しません。ご使用のインターネットサービスプロバイダの正しいダイヤルアップ番号を入力してください。

ステップ 4 :

ダイヤルアップ接続を利用して、email やインターネットの閲覧その他のアプリケーションを使用します。

2.4 FAX

Bluetooth Fax プロファイルは Bluetooth 対応の電話機またはモデムを経由してコンピュータから FAX を送ることができるようにします。

通常の使い方

- Bluetooth 対応の携帯電話から FAX を送る
- Bluetooth 対応のモデムから FAX を送る

いずれの場合も、Bluetooth 対応デバイス側が FAX サービスに対応していなければなりません。詳しくはご使用の機器のユーザーズマニュアルをご参照ください。

Bluetooth 対応の携帯電話から FAX を送る

ステップ 1 :

Bluetooth 対応の携帯電話の電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行います。

ステップ 2 :

検出された携帯電話のアイコンをダブルクリックすると、対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、FAX のアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。

ステップ 3 :

FAX ソフトウェアを使用してメッセージを送信します。

Bluetooth 対応のモデム経由で FAX を送る

ステップ 1 :

Bluetooth 対応のモデムの電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行います。

ステップ 2 :

検出されたモデムのアイコンをダブルクリックすると、対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、FAX のアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。

ステップ 3 :

FAX ソフトウェアを起動します。FAX ソフトウェアに Bluetooth FAX モデムを設定します (Bluetooth モデムではありません)。設定については FAX ソフトウェアのユーザーズマニュアルをご参照ください。

ステップ 4 :

FAX ソフトウェアを使用してメッセージを送信します。

2.5 ファイル転送

File Transfer Profile (FTP) は Bluetooth 対応のノート PC・デスクトップ・PDA・携帯電話などとの間でファイルやフォルダの転送を可能にします。

通常の使い方

- Bluetooth 対応の携帯電話と接続して携帯電話とファイルまたはフォルダの転送を行います。
- 他の Bluetooth 対応デバイスとご使用のコンピュータとでフォルダを共有します。
- 他の Bluetooth 対応デバイスにある共有フォルダにアクセスします。

携帯電話との接続

ステップ 1:

Bluetooth 対応の携帯電話の電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行います。

ステップ 2:

検出された携帯電話のアイコンをダブルクリックすると、対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、FTP (ファイル転送) のアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。

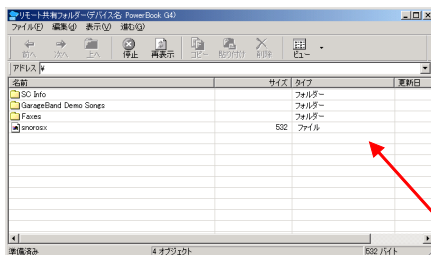


ご注意

携帯電話との接続の場合、携帯電話側から接続の設定を行わなければ、パソコンからは接続できない機種もあります。ご使用の携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

ステップ 3:

ウィンドウ内に電話のフォルダが表示されます。ユーザーはファイルをコピー・貼り付け・削除することができます。



コンピュータ内のデータ

ご使用のコンピュータ上にあるフォルダを他のBluetooth対応デバイスと共有する

ステップ 1:

概要

ファイル共有に使用するフォルダを選択し、権限を与えるリモートユーザを特定します。

手順

1-1

「マイサービス」 - 「属性」をクリックします。

1-2

「ファイル転送」タブをクリックします。

1-3

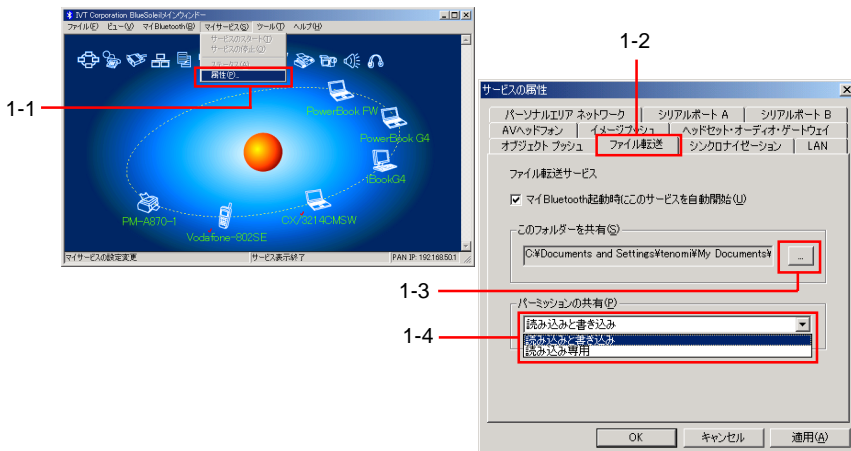
「このフォルダを共有」:

共有したいフォルダを選択するために参照します。

1-4

「パーミッションの共有」:

- ・ 「読み込みと書き込み」を選択すると他のコンピュータから、この共有フォルダ内のファイルやフォルダのコピー・貼り付け・削除が可能になります。
- ・ 「読み込み専用」を選択すると、他のコンピュータからはこの共有フォルダ内のファイルやフォルダの読み込みとコピーのみ許可されます。



ステップ 2:

「ビュー」 - 「サービスウィンドー」に切り替え、サービスウィンドーでFTPサービスを開始します。「BlueSoleil」の接続を初期化しないでください。

ステップ 3:

リモートデバイスからコンピュータを参照します。設定方法についてはリモートデバイスのユーザーズマニュアルをご参照ください。リモートデバイスがご使用のコンピュータへ接続を試みると、「Bluetooth Service 認証」画面が表示されます。「はい」をクリックしてください。

ステップ 4:

接続に成功したら、リモートフォルダの設定に応じて、リモートデバイスからご使用のコンピュータの共有フォルダ内のファイルやフォルダのコピー・貼り付け削除が可能になります。リモートデバイスの設定については、リモートデバイスのユーザーズマニュアルをご参照ください。

他のBluetooth対応デバイスにある共有フォルダへのアクセス

ステップ 1:

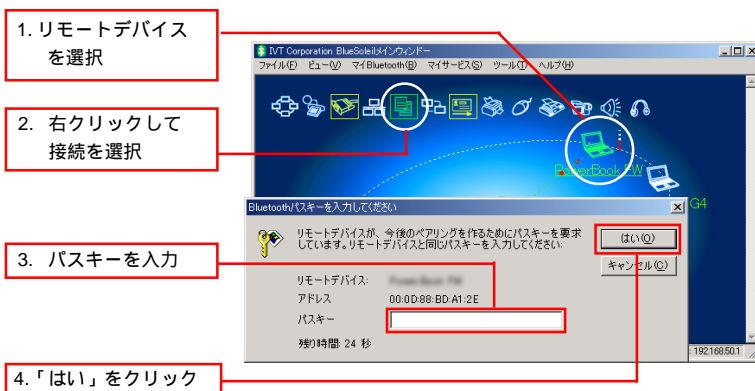
リモートデバイス側で共有するファイルまたはフォルダを指定します。リモートデバイスでファイル共有が可能になります。設定方法についてはリモートデバイスのユーザーズマニュアルをご参照ください。

リモートデバイスでファイル共有ができない場合、BlueSoleilはそのデバイスのファイル共有サービスを検出することができません。

ステップ 2:

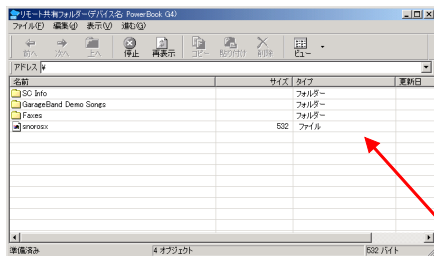
リモートデバイス側のFTPサービスをスタートし、BlueSoleilとの接続を開始してください。

パスキーを入力するダイアログが表示されたら、パスキーを入力し「はい」ボタンをクリックしてください。



ステップ3:

リモートデバイスの共有ファイルと共有フォルダが表示された状態で、リモート共有フォルダの画面が現れます。この画面を使用し、フォルダの権限に応じて、ファイルの参照・コピー・ペースト・削除を行います。



コンピュータ内のデータ

2.6 ヘッドセット

Headset Profile では、Bluetooth 機能搭載のヘッドセットをワイヤレスイヤホンとマイクとして使用することができますようにします。

通常の使い方

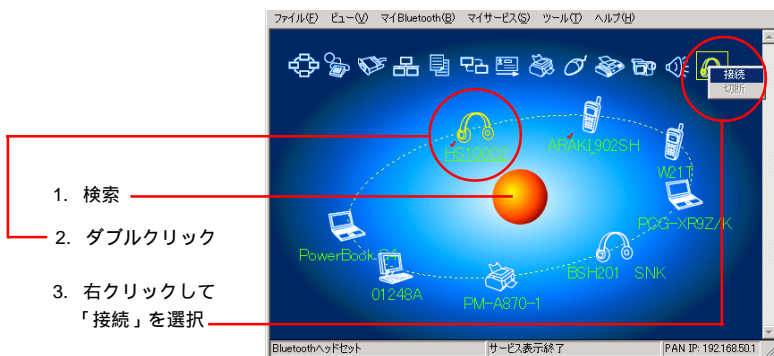
オーディオ入出力のデバイスとしてヘッドセットを使用する。

ステップ1:

Bluetooth 対応のヘッドセットの電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行います。

ステップ2:

検出されたヘッドセットのアイコンをダブルクリックすると、対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、ヘッドセットのアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。



パスキーの入力を促すウィンドウが表示された場合は、ヘッドセットに設定されているパスキーと同じ物を入力します。

ステップ 3 :

コンピュータ上の音楽ファイルを再生したり、ネットワークミーティングツールを使用してチャットをすることができるようになります。コンピュータとヘッドセット間で音声を転送するために、ヘッドセットのマルチファンクションボタンを押す必要があります。



音声がうまく再生されない場合は、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで、規定のデバイスに、Bluetooth対応のヘッドフォンが設定されているかを確認してみてください。

ほとんどのBluetooth対応のヘッドセットでは、一度接続に成功した後は、マルチファンクションボタンを押すだけですぐにBlueSoleilに再接続できるようになります。

2.7 ヒューマンインターフェースデバイス

Bluetooth Human Interface Device (HID) Profile は、ご使用のコンピュータを操作するためのキーボードやマウス、ジョイスティックなどのヒューマンインターフェースデバイスを使用することができるようにします。

通常の使い方

ご使用のコンピュータにBluetooth対応のマウスやキーボードを接続する

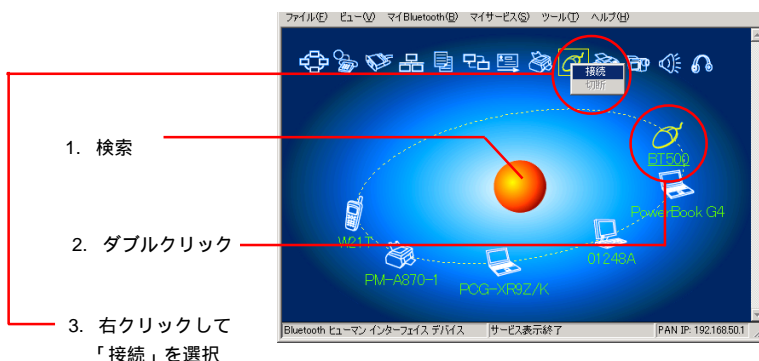
マウスを接続する場合の例：

ステップ1：

Bluetooth 対応のマウスの電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行います。

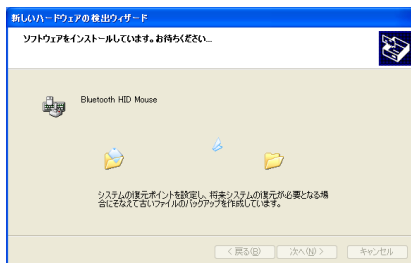
ステップ2：

検出されたマウスのアイコンをダブルクリックすると、対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、マウスのアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。



Bluetooth 対応のキーボードを接続する場合も、上記と同様の手順で行うことができます。ただし、キーボードの場合、接続のために BlueSoleil を使用する前に、ペアリングを可能にするためキーボード上のボタンを押さなければならない場合があります。

初めてご使用のパソコンにマウスやキーボードを接続する場合は、新しいハードウェアの検出ウィザードが自動的に起動します。



Bluetooth 対応のマウスやキーボードは、接続が確立すると、それ以後は自動的に再接続されます。

2.8 LAN アクセス

Bluetooth LAN Access Profile (LAP) では、Bluetooth 対応の LAN アクセスポイントを経由してローカルエリアネットワークへのアクセスを可能にします。

通常の使い方

- Bluetooth 対応の LAN アクセスポイントを経由してローカルエリアネットワークへアクセスします。
- ご使用のコンピュータを LAN アクセスポイントとして使用します。

Bluetooth 対応のアクセスポイントを経由してローカルエリアネットワークへアクセスする

ステップ 1:

Bluetooth 対応のアクセスポイントとご使用のパソコンが通信可能であることを確認し、LAN アクセスポイントの LAP サービスに接続します。

ステップ 2:

「Connect Bluetooth LAP」の接続ダイアログで、必要な場合はユーザ名とパスワードを入力してください。「接続」ボタンをクリックします。

2.9 オブジェクト プッシュ

Bluetooth Object Push Profile (OPP) は、Bluetooth 対応の PDA や携帯電話との間で、(メッセージやノート、カレンダーアイテム、ビジネスカードなどの) Personal Information Management (PIM) データオブジェクトの送受信を可能にします。

サポートするオブジェクトは以下の通りです。

- 連絡帳 /Contacts (.vcf)
- カレンダーアイテム (.vcs)
- ノート /Notes (.vnt)
- メッセージ (.vmg)

通常の使い方

- Bluetooth 対応の携帯電話や PDA にオブジェクトを転送します。
- Bluetooth 対応の携帯電話や PDA からオブジェクトを受信します。

PDA に PIM オブジェクトを転送したい場合、始める前にその PDA が PIM オブジェクトを受け取る準備ができていることをご確認ください。必要な場合は PDA のオブジェクト転送 (Object Push) を使用可能にしてください。設定方法についてはご使用の PDA のユーザーズマニュアルをご参照ください。

Bluetooth 対応の携帯電話へオブジェクトを転送する

オブジェクトの転送には 2 つの方法があります。

その 1 Bluesoleil のメインウィンドーから：

サービスインフォメーションを参照するために、携帯電話または PDA のアイコンをダブルクリックします。「Bluetooth オブジェクトプッシュ」アイコンが画面の上部でハイライトされます。「Bluetooth オブジェクトプッシュ」アイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「名刺の送信」をクリックしてください。



名刺の送信：

デフォルトのビジネスカードを送ります。

名刺の受信：

携帯電話側のデフォルトのビジネスカードを受信します。

送受信：

(.vcf、.vcs、.vnt、.vmg 等の拡張子を持つ PIM ファイルの) オブジェクトを選択して、携帯電話へ送信します。

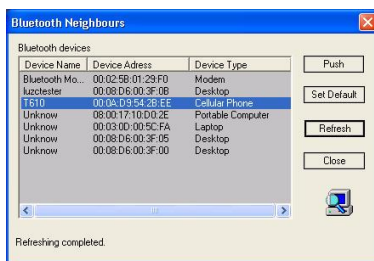
名刺交換：

パソコンと携帯電話間でおたがいにもっているでデフォルトのビジネスカードを交換します。

その : Microsoft Outlook から：

「Outlook ショートカット」から「連絡先」ボタンをクリックして送信したい連絡先を選択します。

アウトルックで、ツールバー上の「Push」ボタンをクリックするか「ファイル」メニューから「Push」をクリックしてください。Bluetooth Neighbors スクリーンが表示されます。デバイスリストから、送信したい携帯電話や PDA を選択してください。



Bluetooth 対応の携帯電話からオブジェクトを受信する。

ステップ 1：

オブジェクト送信のパラメータを設定してください。メインウィンドーから「マイサービス」 - 「属性」と選択し、「サービスの属性」ウィンドウ内で「オブジェクト プッシュ」タブをクリックして、「マイ Bluetooth 起動時にこのサービスを自動開始」のチェックボックスにチェックを入れてください。

1. 「属性」を選択
2. 「オブジェクト プッシュ」タブをクリック
3. この項目をチェック

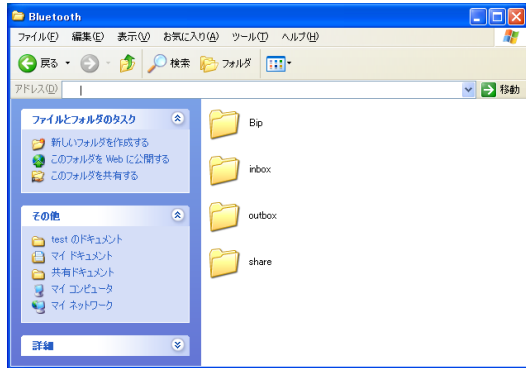
ステップ2:

第1章の手順に従い、オブジェクトの送信サービスを開始します。コンピュータがオブジェクトを受信することができるよう、接続はせずに、サービスのみスタートしてください。

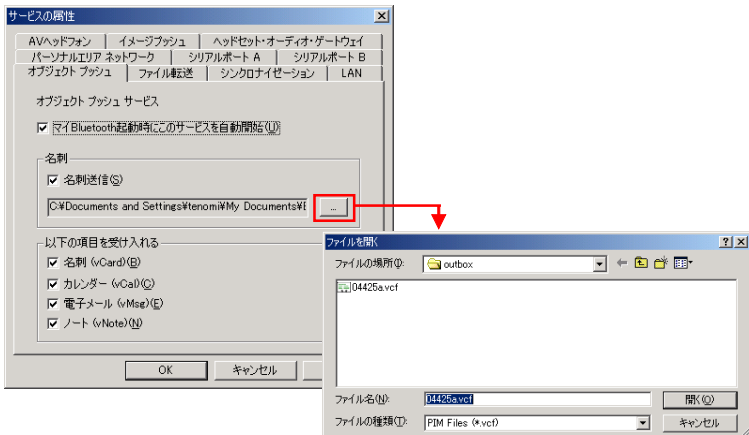
ステップ3:

携帯電話からオブジェクトを送信します。設定方法については携帯電話のユーザーズマニュアルをご参照ください。

オブジェクト送信 (Object Push) を使用するために、BlueSoleil は、ご使用のパソコンの「マイドキュメント」フォルダ内に「Bluetooth」フォルダ(InboxとOutBoxのサブフォルダを含む)を作成します。「Inbox」は、他のデバイスから受信したオブジェクトを保存するのに使用します。「Outbox」は、パソコンから送信するためのオブジェクトを保存するのに使用します。



「マイサービス」 - 「属性」と選択し、「サービスの属性」ウィンドウ内のオブジェクト プッシュタブから、デフォルトのビジネスカードを設定することができます。「名刺送信」フィールド内は、デフォルトのビジネスカードに使用する連絡先を選択するために参照します。



2.10 パーソナルエリアネットワーク

Bluetooth Personal Area Networking (PAN) Profile は、デスクトップやノートパソコン PDA、その他の Bluetooth 搭載デバイスが 2 種類のパーソナルエリアネットワークを構築することを可能にします。

- ・ 単一のネットワークとして機能するアドホックネットワーク(GN)グループでは、複数の PAN ユーザー (PANU) が GN コントローラを経由して互いにリンクしあいます。
- ・ また、外部 LAN インフラとのアクセスを提供するネットワークアクセスポイント(NAP)とリンクしている複数の PAN ユーザーから構成することもできます。

BlueSoleil は GN (コントローラ)、 PANU、 NAP の 3 つのデバイスの役割をサポートしています。



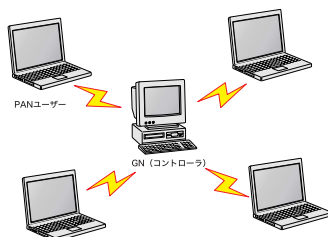
ご注意

ネットワークとの接続後の設定については Windows 側のネットワーク設定をご使用ください。また、セキュリティソフトをご使用の場合は、設定を変更しなくてはならない場合があります。

通常の使い方

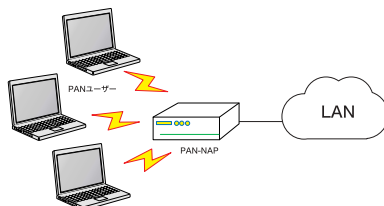
アドホックネットワークグループ(ピアツーピア ネットワーク)

ひとつのデバイスが GN として動作し、その他のデバイスは PANU デバイスとして機能します。これらのコンピュータは TCP/IP をベースにして、互いに参照しあったりアプリケーションを利用することができます。



ネットワークアクセスポイント (または NAP として動作しているコンピュータ) 経由で LAN にアクセスする

コンピュータが NAP に接続した後、それらのコンピュータはその LAN のメンバーとなり同一ネットワーク内のほかのコンピュータと直接通信を行えるようになります。



PAN ユーザ (PANU) に接続する

ステップ 1:

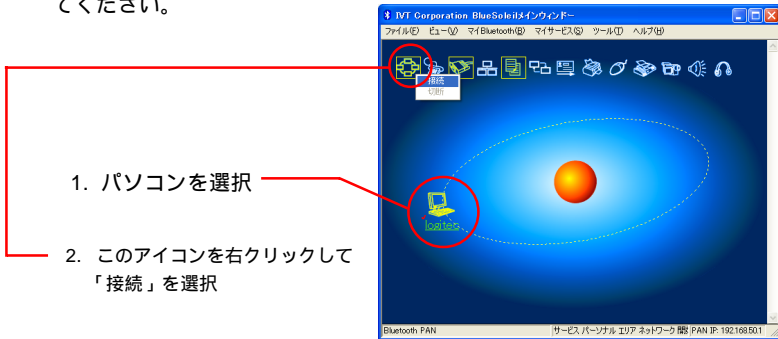
マスターとして動作するBluetooth対応のパソコンと通信が可能であることを確認してください。

ステップ 2:

そのパソコン(パーソナルエリアネットワーク(PAN)サービスサーバ)に接続します。

ステップ 3:

BlueSoleilがあなたのパソコンのIPアドレスを取得し表示するまで数秒待つてください。



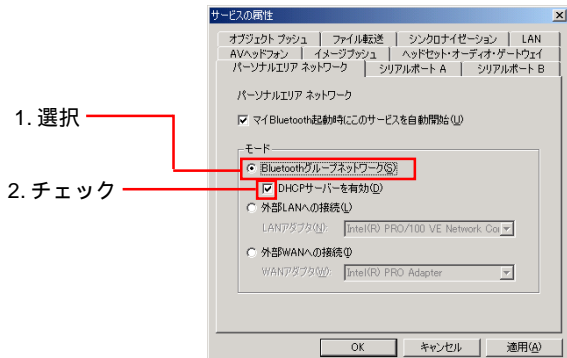
NAP/GN を設定する

「マイサービス」 - 「属性」とクリックして表示される画面から「パーソナル エリア ネットワーク」タブをクリックしてください。

シナリオ 1

アドホックネットワーク グループを作る

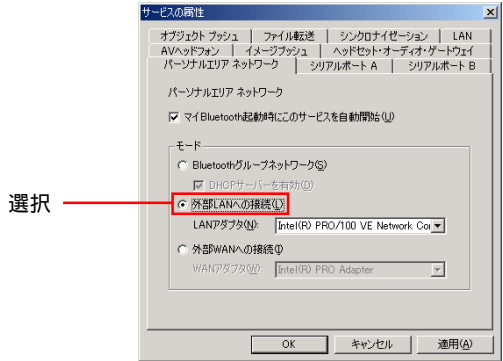
「Bluetoothグループネットワーク」を選択し「DHCPサーバを有効」をチェックします。GN上でDHCPサーバが起動します。PANUはBluetoothネットワークアダプタで固定のIPを設定していなければ、このDHCPサーバから自動的にIPアドレスを取得できるようになります。



シナリオ 2

PAN-NAP 経由で LAN にアクセスする

「外部 LAN への接続」を選択し、LAN アダプタとしてそのネットワークアクセスポイント (NAP) が LAN の接続に使用しているネットワークアダプタを選択します。

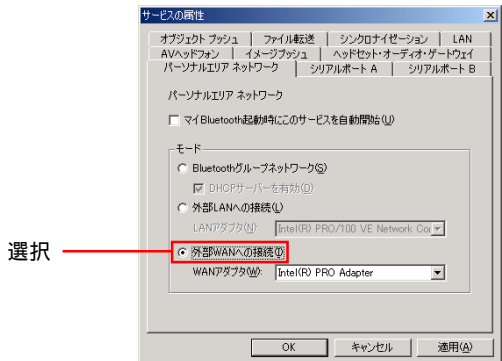


シナリオ 3

NAP 経由でインターネットにアクセスする

「外部 WAN への接続」を選択し、WAN アダプタとしてそのネットワークアクセスポイントがインターネットの接続に使用しているネットワークアダプタを選択してください。自動的に NAT 機能 (Network Address Translation; 詳細については Windows のヘルプトピックをご参照ください) と DHCP サーバが使用可能になります。

PANU 側の Bluetooth ネットワークアダプタが自動的に IP アドレスを取得する設定になっていなければなりません。IP アドレスは 192.168.50.xxx というような形式 (192.168..50.1 のように) をとります。



2.11 プリンタ

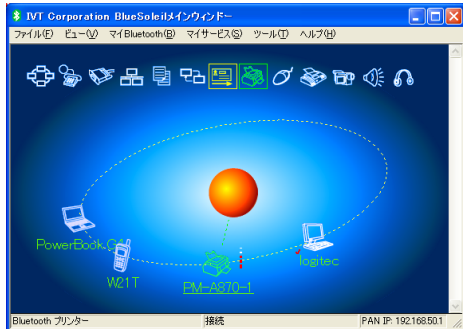
Bluetooth Priter Profile (HCRP) はBluetooth 対応プリンタへの接続を可能にします。

通常の使い方

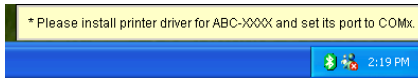
Bluetooth 対応プリンタで文書を印刷する

ステップ 1 :

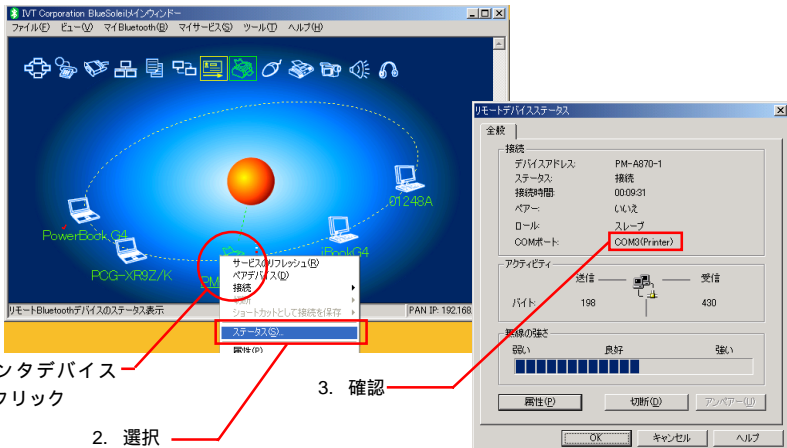
プリンタの印刷サービスに接続します。



- a. ご使用のパソコンに適切なプリンタドライバがインストールされていない場合は、BlueSoleil は、適切なドライバをインストールするようメッセージを表示します。



対象のプリンタのドライバをインストールし、忘れずに正しいCOMポートのナンバーをプリンタポートに設定します。正しいCOMポートのナンバーを確認するには、メインウィンドーのプリンタデバイスのアイコン上で右クリックします。表示されるポップアップメニューから「ステータス」を選択します。

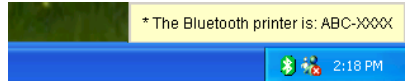


- 1. プリンタデバイスを右クリック

- 2. 選択

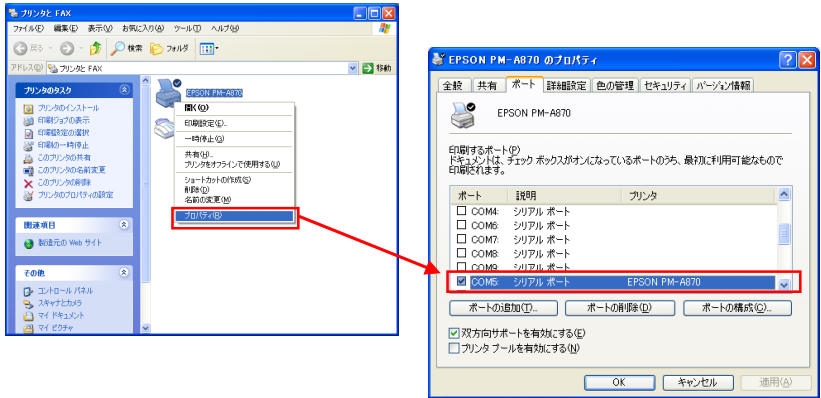
- 3. 確認

- b. プリンタドライバがインストールされている場合、プリンタの準備ができていたことがメッセージで通知されます。



ステップ 2 :

Bluetooth対応のプリンタを使用して文書を印刷します。ご使用のアプリケーションから正しいプリンタとプリンタポートを選択してください。



注 : Bluetooth 対応プリンタに使用されている COM ポートは実際のコンピュータシステムの設定によって、本説明とは異なる場合があります。

2.12 シリアルポート

Bluetooth Serial Port Profile (SPP) はデスクトップ、ノートパソコン、PDA、GPS 受信機、コードレスシリアルアダプタ、仮想シリアルポートを持つ Bluetooth 対応デバイスが、シリアルケーブルを使用する代わりに、Bluetooth を経由してワイヤレスに相互接続することを可能とします。

BlueSoleil は登呼側接続用 (出力) に 4 つ、着呼側接続用 (入力) に 2 つのシリアルポートをサポートしています。

通常の使い方

- シリアルポートを経由して別の Bluetooth 対応機器に接続します。

PDA への接続

ステップ 1 :

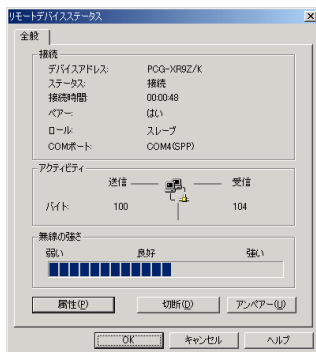
Bluetooth 対応の PDA の電源を ON にして、通信可能範囲内にセットし、BlueSoleil を起動してデバイスの検索を行います。

ステップ3:

検出されたPDAのアイコンをダブルクリックすると、対応するサービスのアイコンが黄色にハイライト表示されますので、シリアルポートのアイコンを右クリックして「接続」を選択してください。

ステップ4:

シリアル接続を使用するActiveSyncや他のアプリケーションを使用します。



シリアルポート自動接続機能

特定のシリアルポートにターゲットデバイスが割り当てられたら(例: COM5等)アプリケーションがそのシリアルポートナンバーを開いたときはいつでも、BlueSoleilは自動的にターゲットデバイスに接続します。同様に、アプリケーションがそのシリアルポートを閉じたときはいつでも、BlueSoleilは接続を中止します。どのデバイスにどのCOMポートが割り当てられているかは、「ツール」 - 「設定」 - 「クイック接続」をクリックしてください。

アプリケーションによっては、使用するシリアルポートのナンバーに制限がある場合があります。もし、BlueSoleilによって割り当てられたCOMポートのナンバーをアプリケーションが使用できない場合、そのアプリケーションではBlueSoleilを使用することができません。

2.13 Bluetooth 同期化

Bluetooth Synchronization (SYNC) Profile は、ユーザのコンピュータ上の PIM オブジェクトと、Bluetooth 対応の携帯電話や PDA、その他のデバイスと同じように Bluetooth に対応したパソコンの PIM オブジェクトを同期化することができます。

4 種類のオブジェクトをサポートしています。

- 連絡帳 /Contacts (.vcf)
- カレンダーアイテム (.vcs)
- ノート /Notes (.vnt)
- メッセージ (.vmg)

サポートする MS アウトルックのバージョン

Outlook 2000、Outlook2002 (XP)、Outlook 2003

通常の使い方

Bluetooth 対応の携帯電話と同期化する

ステップ 1 :

第 1 章の手順に従い、携帯電話の同期化サービスに接続します。

ステップ 2 :

Synchronization ダイアログが表示されます。同期化するために「Start」ボタンをクリックします。MS アウトルックの「Contact(連絡帳)」「カレンダー」「ノート」「email」が、その携帯電話の同様のものと同期化します。

ユーザーは、BlueSoleil でインストールしたアドインメニューとボタンを使用して MS アウトルックから同期化を開始することができます。

Blesoleil は同期化サーバとして稼動することができます。「マイサービス」 - 「属性」とクリックして、「シンクロナイゼーション」タブをクリックし、同期化を行いたい PIM オブジェクトのタイプを選択してください。

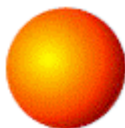
A-1.1 BlueSoleil 環境

A-1.1.1 メインウィンドー

メインウィンドーではローカルデバイス（レットボール）と通信可能範囲内で検出されたリモートデバイスが表示されます。接続と解除の操作は、ここで行います。

接続の様子は、ローカルデバイスと接続されているリモートデバイスとの間の緑色の破線で示されます。

デフォルトではBlueSoleilの起動時はメインウィンドーが開かれます。画面を切り替えた後にメインウィンドーに戻る場合は、メニューバーから「ビュー」 - 「メインウィンドー」とクリックします。



ローカル Bluetooth デバイス

ローカルの Bluetooth 対応デバイスはBlueSoleilが動作しているご使用のパソコンを表わしています。

操作

- レットボール上にマウスをポイントするとローカルデバイスのBluetooth名とアドレスが表示されます。
- レットボールをクリックすると通信可能範囲内にあるBluetooth対応デバイスの検索の開始 / 中止を行います。
- レットボール上で右クリックすると関連する操作のポップアップメニューが表示されます。（例：通常検出、マイサービス、セキュリティ等）

リモート Bluetooth デバイス

リモートデバイスは、ローカルデバイスの無線範囲内にある別のBluetooth対応機器のことです。BlueSoleilは異なるタイプのリモートデバイスを表わす異なるアイコンを使用します。

パソコン		ノートPC	
モデム		携帯電話	
PDA		LAN アクセスポイント	
キーボード		マウス	
マイク		HiFi オーディオ	
ラウド スピーカー		ヘッドセット	
プリンタ		スキャナ	
Fax		カメラ	
ゲーム コントローラ		サーバ	
未知のデバイス			

アイコンの意味

リモートデバイスはBlueSoleilが異なる色で示す、以下の3つの状態のいずれかにあります。

- 白 - アイドル状態：検出されているが、選択されていない状態。
- 黄色 - 選択状態：そのデバイスが選択されている状態
- 緑色 - 接続状態：ご使用のコンピュータとそのデバイスが接続されている状態

操作

- シングルクリックでアイコンが選択されます。
- そのアイコンをダブルクリックすると、リモートデバイスでサポートされているサービスの検索を行います。
- そのアイコン上で右クリックすると関係する操作のポップアップメニューが表示されます。(例：サービスのリフレッシュ、ペアデバイス、接続等)

リモートデバイスの Bluetooth サービスボタン

メインウィンドー上部のサービスボタンは、リモートデバイスがサポートする Bluetooth サービスの範囲が表わされています。

PAN パーソナルエリア ネットワーク		DUN ダイヤルアップネット ワーク	
SPP シリアルポート プロファイル		LAP LANアクセス プロファイル	
FTP		SYNC シンクロナイ ゼーション	
OPP オブジェクト プッシュ プロファイル		HCRP	
HID		FAX	
BIP ベシクイメージ プロファイル		AV	
Headset			

アイコンの意味

サービスのアイコンは異なる色によって示される3つの状態があります。

- 白 - アイドル状態：サービスが開始されていない状態、または選択したリモートデバイスでは使用できないサービス。
- 黄色 - 使用可能：その Bluetooth サービスは選択されているリモートデバイスで使用可能です。
- 緑色 - 接続：その Bluetooth サービスはリモートデバイスとの接続で有効になっています。

操作

- デバイスのアイコン上でマウスをクリックしてサービスの名前を表示します。
- 接続するにはそのサービスアイコンをシングルクリックします。
- デバイスのアイコン上で右クリックすると関係する操作のポップアップメニューが表示されます。

A-1.1.2 サービスウィンドウ

サービスウィンドウはBluesoleilがサポートしているローカルのBluetoothサービスを表示しています。サービスウィンドウは、サービスのプロパティの設定の他に、サービスの開始と中止に使用します。サービスウィンドウにアクセスするには「ビュー」 - 「サービスウィンドウ」とクリックします。

ローカルサービスステータス

ローカルサービスのステータスは各サービスをクリックして表示されるメニューから「ステータス」を選択し表示されるダイアログボックスで確認できます。サービスウィンドウ内のローカルサービスアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「ステータス」を選択してください。選択したサービスのステータスダイアログが表示されます。



ローカルサービスのステータス例

接続:

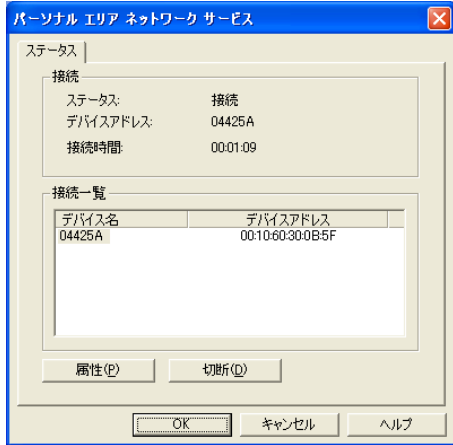
ステータス：ローカルサービスが接続されているかどうかを示します。

デバイスアドレス：そのサービスに接続しているリモートデバイスのBluetoothアドレスを表示します。

接続時間：その接続が確立されてからの経過時間を表示します。

COMポート：リモートデバイスと接続されている仮想Bluetooth COMポート

パーソナルエリアネットワークサービスのステータスは、他のステータスダイアログと異なります。次ページをご参照ください。



ローカルサービスステータス (PAN)

接続：

ステータス：ローカルサービスが接続されているかどうかを示します。
 デバイスアドレス：サービスに接続しているリモートデバイスの名前を表示します。
 接続時間：その接続が確立されてからの経過時間を表示します。

接続一覧：

PAN サービスに接続しているリモートデバイスの名前とアドレスを表示します。

ローカルサービスリスト

「サービスリスト」はローカルコンピュータでサポートしている全ての Bluetooth サービスを表示します。

PAN パーソナルエリア ネットワーク		SPP シリアルポート プロファイル	
OPP オブジェクト プッシュ プロファイル		FTP	
SYNC シンクロナイ ゼーション		LAP LANアクセス プロファイル	
AV		BIP ベーシックイメー ジ プロファイル	
Headset AG			

アイコンの意味

ローカルBluetoothサービスは、異なる色のアイコンで示される3つの状態があります。

- 白 - アイドル状態：そのサービスは開始されていません。
- 黄色 - サービス提供中：そのローカル Bluetooth サービスは既に開始されています。
- 緑色 - 接続済み：リモートデバイスはそのサービスに接続済みです。

操作

- サービスを選択するにはそのアイコンをシングルクリックします。
- サービスを開始/中断するにはアイコンをダブルクリックします。
- アイコンを右クリックすると関係する操作のポップアップメニューが表示されます。

A-1.1.3 メニュー

BlueSoleil には以下の 6 つのメニューがあります。

- ファイルメニュー
- ビューメニュー
- マイ Bluetooth メニュー
- マイサービスメニュー
- ツールメニュー
- ヘルプメニュー

ファイルメニュー

- 隠す：
BlueSoleil ウィンドウを隠します。ウィンドウが隠されても接続状態は維持されます。
- 常に前面：
ウィンドウが常に手前に表示されます。
- 終了：
BlueSoleil を終了します。

Windows のタスクトレイの下側にあるアイコンを右クリックしても BlueSoleil を終了させることはできません。

ビューメニュー

- メインウィンドー：
BlueSoleil のメインウィンドーを表示します。
- サービスウィンドー：
BlueSoleil のサービスウィンドーを表示します。
- デバイスの並べ替え：
リモートデバイスをデバイス名、デバイスアドレス、デバイスタイプ、毎に並べ替えます。
- リフレッシュデバイス：
BlueSoleil によって検出されたリモートデバイスのリストを更新します。

「リフレッシュデバイス」を選択しても、事前に検出したデバイスのリストはクリアされません。新しいデバイスの検索を始めるには、はじめにリストをクリアして「F5」キーを押してください。

マイ Bluetooth メニュー

- Bluetooth サーチ：
通信可能範囲内にある Bluetooth 対応デバイスの検索を行います。
- Bluetooth サービスの表示：
選択されたリモートデバイスのサービスを参照します。
- セキュリティ：
ローカルデバイスのセキュリティの設定を行います。
(例：パスキー、データの暗号化)
- デバイスの属性：
ローカルデバイスのプロパティを設定します。
(例：デバイス名、アクセシビリティ)

マイサービスメニュー

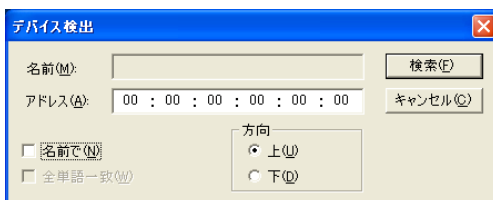
- サービスのスタート：
選択したローカル Bluetooth サービスを開始します。
- サービスの停止：
選択したローカル Bluetooth サービスを停止します。
- ステータス：
選択したローカル Bluetooth サービスの状態を確認します。
- 属性：
ローカル Bluetooth サービスのプロパティを設定します。
(例：自動接続、共有ファイルの場所など)

ツールメニュー

- デバイス検出：

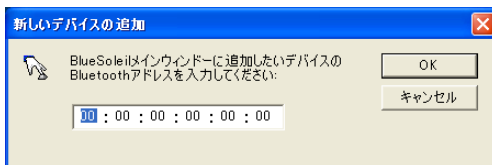
クリックすると、2つの検索基準でデバイスの検出を行います(*)。

- Bluetooth のデバイスアドレスによる検出：
標準のフォーマット (xx:xx:xx:xx:xx:xx) で Bluetooth のデバイスアドレスを入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。指定されたアドレスを持つデバイスが、メインウィンドーでハイライト表示されます。
- 名前による検出：
「名前」ボックスをチェックして、デバイスの名前を入力し、「検索」をクリックします。指定された名前を持つデバイスが、メインウィンドーでハイライト表示されます。



- 新しいデバイスの追加 :

該当のデバイスのBluetooth デバイスアドレスを入力して、リモートデバイスを追加します。

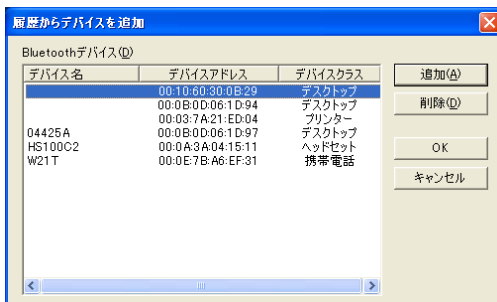


- 履歴からデバイスを追加

履歴リストからリモートデバイスを追加します。

追加 : 選択したデバイスを追加します。

削除 : リスト内で選択したデバイスをクリアします。



- 設定 - > クイック接続 :

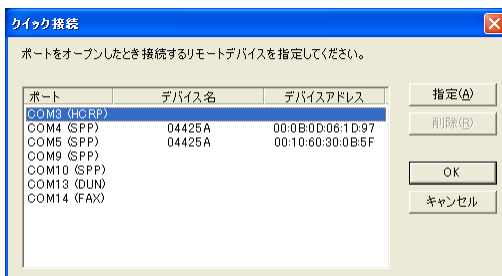
希望する場合、アプリケーションが特定のポートを開いているときはいつでも、リモートデバイスがBluetoothシリアルポートに自動的に接続するように割り当てます。

・ 指定 :

デバイスに選択されたポートを割り当てます。

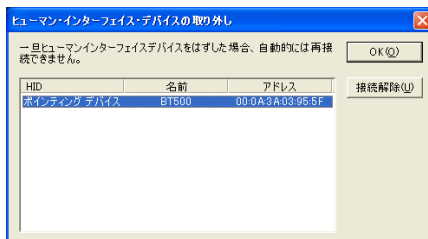
・ 削除 :

選択されたポートを割り当てられている自動接続デバイスを削除します。



- 設定 - > 接続解除（ヒューマンインターフェイスデバイスの取り外し）：
Bluesoleil からヒューマンインターフェイスデバイス（HID）を取り外します。
 - ・ 接続解除：
 - 選択した HID デバイスをアンプラグします。

初めて HID デバイスをコンピュータに接続したとき、BlueSoleil は、万一その接続が中断したときに自動的に再接続するようにデバイスの設定を行います。HID デバイスをアンプラグした後は、もう自動的にコンピュータと再接続を行いません。



- マイ Bluetooth デバイス：
 - 上級のユーザにのみ推奨する高度なハードウェア設定です。詳細については「A-1.3.1 ハードウェア設定」をご参照ください。

ヘルプメニュー

- 目次と索引：
 - BlueSoleil のオンラインヘルプにアクセスします。
- BlueSoleil について：
 - ご使用の BlueSoleil のバージョンが表示されます。

A-1.2 Bluetooth 接続管理

A-1.2.1 リモートデバイスを検索する

Bluetooth接続のセットアップを行なう場合、初めにリモートデバイスを検索しなければなりません。BlueSoleilでリモートデバイスを検索するには、以下の3種類の方法があります。

1. デバイスを問い合わせる

1. メインウィンドーにあるレッドボールをシングルクリックして、問い合わせを開始します。
2. 無線範囲内にあるBluetooth デバイスが、センターボールの周りに表示されます。
3. 全てのデバイス名が取得されるまで、数秒間お待ちください。

2. 履歴リストからデバイスを追加する

検索または接続されたデバイスを、履歴デバイスのリストから直接追加することができます。

1. 「ツール - 履歴からデバイスを追加」メニューを選択します。履歴ダイアログボックスがポップアップ表示されます。
2. リストからデバイスを選択し、「追加」ボタンをクリックします。デバイスがメインウィンドーに追加されます。

3. デバイスアドレスを入力することで、新しいデバイスを追加する

問い合わせによりデバイスを検索できない場合、デバイスアドレスを入力すると、デバイスを追加することができます。

1. 「ツール - 新しいデバイスを追加」メニューを選択します。「新しいデバイスの追加」ダイアログボックスがポップアップ表示されます。
2. Bluetoothデバイスアドレスを入力し、「はい」ボタンをクリックします、デバイスがメインウィンドーに追加されます。

注意

該当するBluetooth アドレスを入力することによりデバイスタイプが追加された場合、そのデバイスタイプは認識されません。

A-1.2.2 接続・切断

接続

1. リモートデバイスを選択してダブルクリックし、そのサービスを参照します。

ローカルデバイスまたはリモートデバイスのいずれかのセキュリティレベルが「高」に設定されており、ペアリング済みでない場合、パスキーの入力が必要になります。サービスを参照すると、そのリモートデバイスがサポートするサービスは、メインウィンドーの上部にあるサービスボタンの一覧で、黄色にハイライト表示されます。

2. 任意のサービスボタンをシングルクリックし接続します。

接続のセットアップが行なわれると、リモートデバイスおよびサービスボタンが緑色に変わります。

注：ユーザーは、リモートデバイスのアイコンまたはサービスボタンを右クリックして、接続用の操作メニューをポップアップ表示することができます。

切断

方法 1：

リモートデバイスを選択し、サービスボタンを右クリックします。ポップアップメニュー上で、「切断」を選択します。

方法 2：

デバイスアイコンを右クリックします。ポップアップメニューで、「切断」/(切断したい接続)を選択します。

方法 3：

FTPおよび同期接続の場合、操作ウィンドウを閉じてください。接続が切断されます。

方法 4：

リモートデバイスから、直接切断してください。

方法 5：

ローカルBluetoothデバイスが取り外されている、またはリモートデバイスの電源がOFFになっている場合、全ての接続は切断されます。リモートデバイスが無線範囲外に移動した場合、リモートデバイスとの全ての接続は、1分以内に切断されます。

A-1.2.3 ショートカット経由の接続

接続のセットアップが行なわれると、ユーザーは、Windowsのデスクトップにショートカットを作成できます。ユーザーは、デバイスの問い合わせやサービスの参照手順なしにショートカットを使用して、接続することができます。

ショートカットは、パーソナルエリアネットワーク、ダイアルアップネットワーク、HIDおよびAVに適用されます。

手順

1. ショートカットの保存

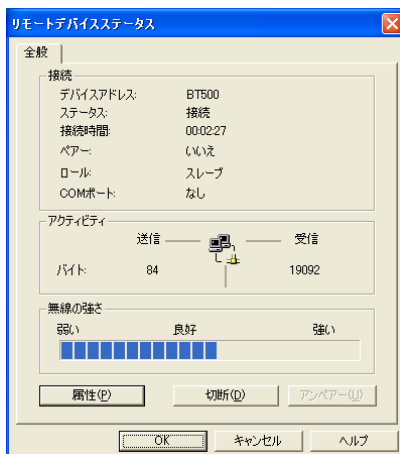
接続後、デバイスアイコンを右クリックし、ポップアップメニューで「ショートカットとして接続を保存」を選択します。

2. デスクトップでショートカットを実行します。

A-1.2.4 リモートデバイスステータス

リモートデバイスの状態は、「リモートデバイスのステータス」ダイアログボックスから見るができます。

リモートデバイスのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューで「ステータス」を選択します。「リモートデバイスのステータス」ダイアログボックスが表示されます。



接続：

デバイスアドレス：リモート Bluetooth デバイスの名前です。

ステータス： リモートデバイスがローカルデバイスへ接続されるかどうかを示します。

接続時間： 接続セットアップ後の経過時間です。

ペア -： このデバイスがリモートデバイスとペアリングされるかどうかを示します。

ロール： この接続のための、リモートデバイスの Bluetooth マスター/スレーブの役割です。

COM ポート： 接続、特に DUN、FAX、SPP および LAP に使用されるバーチャル Bluetooth の COM ポートです。

アクティビティ： 送受信データ量を示します。

無線の強さ： これは、リモートデバイスの RSSI です。このインデックスは、リモートデバイスとローカルデバイス間の無線品質を示します。無線信号が弱すぎる場合、データ転送速度は遅くなります。

属性ボタン： リモートデバイスのプロパティを表示します。

切断ボタン： リモートデバイスとローカルデバイスの接続を切断します。

アンペアボタン： リモートデバイスとローカルデバイスのペアリングを解除します。

A-1.2.5 リモートデバイスの属性

リモートデバイスの属性は、「リモートデバイスの属性」ダイアログボックスから見ることができます。

リモートデバイスのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューで「属性」を選択します。「リモートデバイスの属性」ダイアログが表示されます。



「リモートデバイスのプロパティ」ダイアログ

- デバイスアドレス : リモート Bluetooth デバイスの名前です。
- デバイスクラス : リモートデバイスのデバイス種類です。Bluetooth デバイスは、デスクトップ、ラップトップ、ヘッドセット、LAN アクセスポイント、その他の使用可能デバイスなどのデバイスタイプで分類されます。
- デバイスアドレス : リモートデバイスの Bluetooth デバイスアドレスです。
- LMP 機能 : リモートデバイスがサポートする機能です。
- LMP バージョン : リモートデバイスの LMP ファームウェアバージョンです。
- メーカー : リモートデバイスの製造者です。

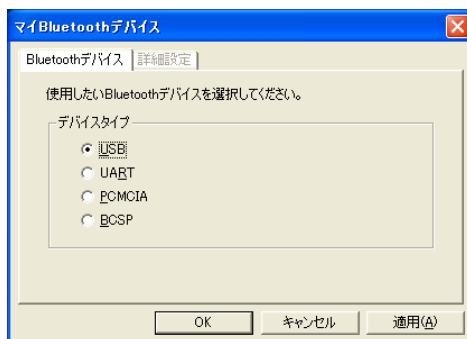
A-1.3 デバイス設定

A-1.3.1 ハードウェア設定

ハードウェアの設定画面にアクセスするには、「ツール」 - 「マイ Bluetooth デバイス」とクリックします。

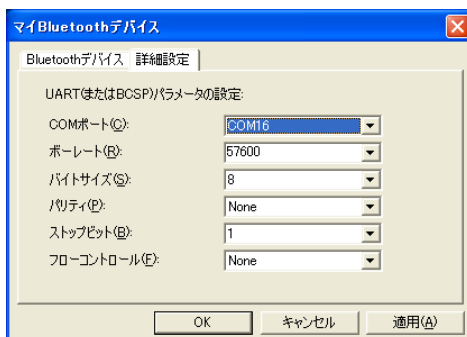
Bluetooth デバイス

ご使用になる予定の Bluetooth 対応機器のタイプを選択してください。



詳細設定

「詳細設定」ページは Bluetooth デバイス画面で「USB」以外を選択した場合のみ使用することができます。「詳細設定」画面は、COMポートやボーレート、バイトサイズ、パリティ、ストップビット、フロー制御の詳細なパラメータを設定するのに使用してください。

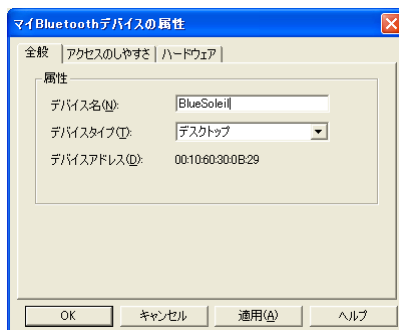


A-1.3.2 プロパティの設定

ローカルデバイスのプロパティを設定するには、「マイ Bluetooth」 - 「デバイスの属性」とクリックしてください。

全般

- デバイス名
他の Bluetooth 対応機器から見えるローカルデバイスの名前です。
- デバイスタイプ
ローカルコンピュータのデバイスタイプ(デスクトップ、ノートパソコン、サーバなど)
- デバイスアドレス
ローカルデバイスのアドレス。全ての Bluetooth 対応デバイスは、固有のデバイスアドレスを持っています。



アクセスのしやすさ

- 接続の属性
- ・ 接続可能 (Connectable):
他の Bluetooth 対応デバイスがご使用のコンピュータに接続することを許可します。
- ・ 接続不可 (Non-Connectable):
他の Bluetooth 対応デバイスがご使用のコンピュータに接続するのを禁止します。
- Discovery モード (検出モード)
 - 一般的 Discoverable (通常の検出モード):
他の Bluetooth 対応デバイスが、ご使用のコンピュータを検出するのを許可します。
 - 限定的 Discoverable (制限付きの検出モード):
他の Bluetooth 対応デバイスが、制限された情報 (inquiry) でご使用のコンピュータを検出するのを許可します。
 - Non-Discoverable (非検出モード):
他の Bluetooth 対応デバイスが、ご使用のコンピュータを検出するのを禁止します。

- Bonding Mode (Pairing モード)
 - ・ Bonding を受け付ける :

他の Bluetooth 対応デバイスがご使用のコンピュータとペアリングすることを許可します。コンピュータと他のデバイスがペアリングを開始したら、それぞれのデバイスで同じパスキーを入力しなければ、ペアリングは確立されません。
 - ・ Bonding を受け付けない :

他の Bluetooth 対応機器からのペアリング要求を拒否します。



ハードウェア

ご使用の Bluetooth ハードウェアの情報を確認します。

- 製造者 :
 - ローカル Bluetooth デバイスの製造元
- HCI バージョン :
 - ローカル Bluetooth デバイスの HCI バージョン
- HCI エディション :
 - ローカル Bluetooth デバイスの HCI エディション
- LMP バージョン :
 - ローカル Bluetooth デバイスの LMP バージョン
- LMP サブバージョン :
 - ローカル Bluetooth デバイスの LMP サブバージョン



A-1.4 セキュリティ設定 (Security Configuration)

デバイスのセキュリティ画面を使用して、ローカルデバイスのセキュリティ設定を行います。

A-1.4.1 ペアリングの確立と解除

いったんリモートデバイスが、使用のコンピュータとパスキーを交換してペアリングを確立すると、そのデバイスとコンピュータ間では、それ以後の接続では、パスキーが必要なくなります。

他のデバイスとのペアリング方法

- 自動

接続にパスキーが必要とされる場合に、デバイス間で最初に自動的に正しくパスキーの交換をしてペアリングを行い、接続します。デバイスがご使用のコンピュータと正しくペアリングされた後は、メインウィンドーのリモートデバイスのアイコンの横に赤色のチェックマークが付きます。

- マニュアル

メインウィンドーで、デバイスのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューで「ペアデバイス」を選択します。「Bluetooth パスキーを入力してください」スクリーンで、リモートデバイス上で入力したのと同じパスキーを入力します。デバイスがご使用のコンピュータと正しくペアリングされた後は、メインウィンドーのリモートデバイスのアイコンの横に赤色のチェックマークが付きます。

- 他のデバイスとのペアリングを解除するには

メインウィンドーで、ペアリングを解除したいアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「Unpair」を選択してください。そのデバイスアイコンの横にあった赤色のチェックマークが消えます。

A-1.4.2 セキュリティの概要

セキュリティ設定画面にアクセスするには、「マイ Bluetooth」 - 「セキュリティ」をクリックします。

- セキュリティレベル

・ 低

(このレベルを)チェックするとリモートのデバイスはパスキーの入力なしに、ご使用のローカルデバイスにアクセスできるようになります。

ただし、リモートデバイス側が接続の際にパスキーを要求する場合、両デバイス間でパスキーの交換が必要になります。

・ 中

このレベルではサービスレベルのセキュリティを提供します。各特定サービスへのアクセスの、適切なレベルを割り当てることができます。詳細については「A-1.4.4 ローカル サービス セキュリティ」をご参照ください。

・ 高

このレベルでは、デバイス間で以前にペアリング設定済みであっても、全ての接続の際にパスキーが必要となります。

- Bluetooth パスキー

・ 固定パスキーの設定

全ての接続のためのデフォルトのパスキーを作成するためにこの設定を使用します。ここで設定しておけば、別のデバイスからのパスキーの要求の際にマニュアルでパスキーを作成する必要がなくなります。

- データの暗号化

・ データの暗号化を有効にする

この項目をチェックすると、データは暗号化して転送されます。

A-1.4.3 デバイスのペアリングを管理する

デバイスのセキュリティ設定画面にアクセスするには、「マイBluetooth」 - 「セキュリティ」と選択し、「デバイス」タブをクリックします。

Pairされたデバイス

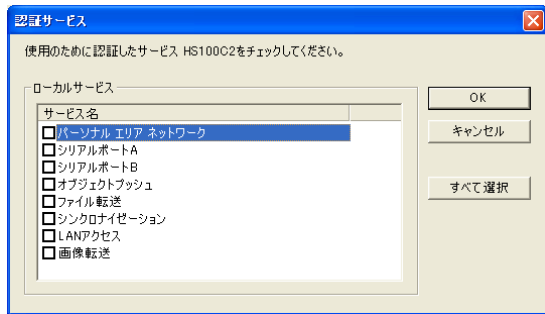
この画面では、既にペアリング済みのローカルデバイスのリストが表示されます。

デバイス削除

クリックして、選択したデバイスとローカルデバイスのペアリング関係を解除します。

認証サービス

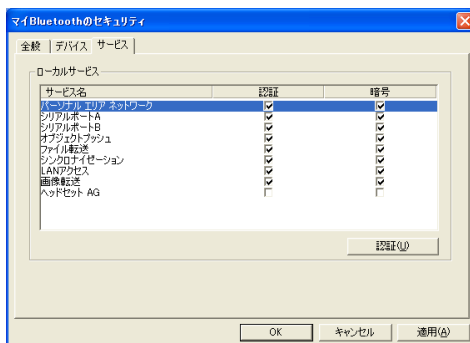
クリックして、選択したペアリング済みのデバイスに使用を許可したい、ローカルBluetoothサービスを選択します。ローカルサービスのリストが表示されます。リモートデバイスに許可したいサービスを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



画面には認証が必要なローカルサービスのみリストされます。認証の必要がないローカルサービスへは自由にアクセスすることができます。「認証サービス」ボタンはセキュリティレベルが「中」以降の場合だけ有効になります。

A-1.4.4 ローカルサービス セキュリティ

ローカルサービスセキュリティの設定画面にアクセスするには、「マイ Bluetooth」 - 「セキュリティ」とクリックして、「サービス」タブをクリックしてください。セキュリティレベルが「中」に設定されているときには、ローカルサービスへのセキュリティのみ設定することができます。(セキュリティレベルの設定は「全般」画面で行います)



ローカルサービス

- 認証

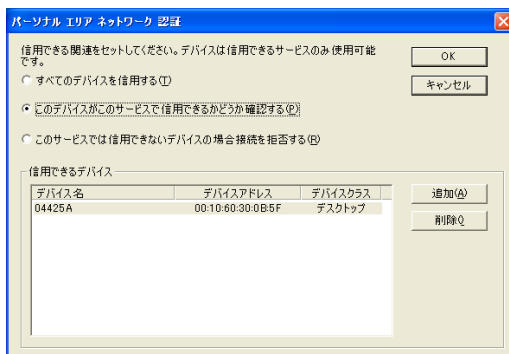
チェックした場合、このサービスにリモートデバイスが接続を試みたときに必ずパスキーが要求されます。

- 暗号

チェックした場合、このサービスを採用したデバイス間でのデータ転送が暗号化されます。

認証ボタン

デバイスの使用を許可したい場合、クリックしてそのデバイスを選択します。「パーソナルエリアネットワーク 認証」画面で、次の設定を行ってください。



このデバイスがサービスで信用できるか確認します。

この画面にリスト表示された信頼できるデバイスを選択し、お使いのデバイスの選択されたサービスを使用します。

信頼できるものとして指定されれば、デバイスはローカルデバイスからサービスに自由にアクセスすることができます。「Add/Remove」をクリックして、デバイスリストを編集します。

- すべてのデバイスを信用する

全てのデバイスからの接続要求を受け入れます。

- このデバイスがこのサービスで信用できるかどうかを確認する

信頼できるものとして指定されていないデバイスがサービスにアクセスしようとする、コネクションを受諾するか拒否するかを入力するダイアログが表示されます。

- このサービスでは信用できないデバイスの場合接続を拒否する

リストに非登録のデバイスがサービスへのアクセスを試みた場合、ユーザへの通知なしに自動的に接続を拒否します。

デバイスがサービスに対して信頼されているデバイスのリストに加えられている場合は、ユーザへの通知なしにローカルデバイス上の該当のサービスへ自動的に接続されます。

Bluetoothデバイス情報を検索する法は？

デバイスのセンターボールを右クリックし、ポップアップメニューで「属性」を選択してください。「Bluetoothデバイス」ダイアログボックスには、デバイス名、デバイスアドレス、製造者、HCIおよびLMP(リンクマネージャプロトコル)バージョン・エディションがあります。

接続したいリモートデバイスが検索できません

はじめに、リモートデバイスが発見可能モードに設定されているかどうかを確認してください。リモートデバイスが発見不可モードに設定されている場合、他のデバイスはそのデバイスを検索することができません。

次に、リモートデバイスが無線到達範囲内にあるかどうかを確認してください。Bluetooth デバイスには、3種類あります。種類1は、高出力デバイスで、その通信可能範囲は、50 ~ 100mです。種類2および種類3は、低出力デバイスで、その通信可能範囲は10 ~ 20mです。

無線到達範囲にあってもリモートデバイスを検索することができない場合、以下のことをお試しください。

- (1) デバイスを直接メインウィンドウへ追加できるように履歴リストからデバイスを検索することができます。この場合、「ツール」 - 「履歴からデバイスを追加」を選択します。
- (2) デバイスが履歴リストに記載されていない場合、リモートデバイスのアドレスを入力することで新しいデバイスを直接追加することもできます。この場合、「ツール」 - 「新しいデバイスを追加」を経由します。

リモートデバイスのサービスを検索することができません

第一に、リモートデバイスが接続可能モードに設定されているかどうかを確認してください。リモートデバイスが接続不可モードに設定されている場合、他のデバイスはそのデバイスに接続されることができません。

第二に、リモートデバイスが無線範囲内にあるかどうかを確認してください。

第三に、リモートデバイスが接続済みであるかどうかを確認してください。現在、一部のBluetooth デバイスは、スキャターネット (Scatter net) をサポートしていません。すなわち、複数のデバイス間の接続を同時にサポートする場合、デバイスには制限があります。接続の設定を行えない場合、ユーザーは1対1での接続でご使用ください。

第四に、いずれかの側が「高」セキュリティレベルにある場合、両側は正しいBluetooth パスキーを入力しているかどうかを確認してください。パスキーは、両側とも同じ物でなければなりません。両側が固定パスキー (初期パスキー) を設定し、これらのパスキーが異なる場合、認証失敗により、接続のセットアップを行なうことができません。